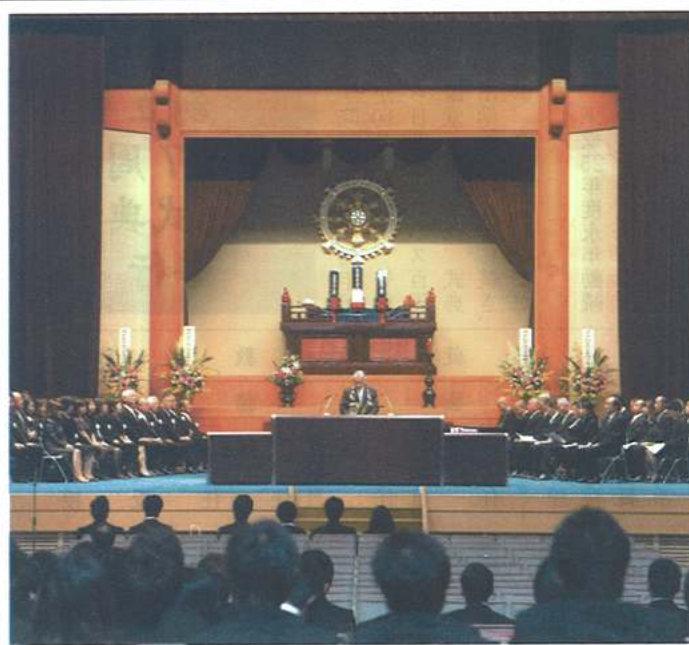




式辞(要旨)
本日学院創立137周年記念式を迎え誠に喜びに耐えません。今日迄の137年間、歴代の関係各位のご努力とご支援に、深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

「学院大の飛躍的發展」
次に戦後の学制改革に際し、本学は時代の先端を走り、昭和25年に短大を、28年に道元禅師七〇〇回大遠忌の報恩事業として大学を創設した事です。旧制の中学・女学校をベ



大学教育の

質的転換に向けて

学院長 小出 忠孝



第187号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

学発展のため大貢献をした事です。之により本学のステータスは飛躍的に向上し財政的基盤も確立され、大愛知学院発展の原動力となりました。

第四に昭和51年に学院創立百周年を記念し、日進キャンパスを開設した事です。緑豊かな50万㎡の広大なキャンパスの開設が、本学の飛躍的成長の基礎となったのです。

当時わが国は高度成長期にあり社会の急速な進展に伴い、大量の大学卒業生を必要としました。これに対応し本学では次々と新学部・学科、大学院の増設、各学部の定員増を行い、社会の要請に応えました。その結果、現在9学部18学科、大学院9研究科、短大1学科に教職員1千名、学生1万2千名、同窓生12万名を有する中部最大級の規模と、充実した内容の私立の総合大学へと飛躍的に発展しました。一方学生の課外活動では多くのクラブが選手個人が、各種大会で優秀な成績をあげ、また卒業生の社会での活躍もめざましく、経済界始め各界でリーダーとして活躍しており、本学の誇りとしています。

「大学教育の質的転換」
この様に本学は全国的に評価される大学に成長しました

が、私共は現状に甘んずる事なく、さらに向上発展させる責任があります。その第一は教育内容の充実です。現在わが国の大学・短大への進学率は57%と上昇し、それに伴い学生の学力、学習意欲等は著しく多様化しています。このような学生の多様化に正確に対応し、社会の要請にこたえるのが大学の使命です。文科省の中教審は「未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」の答申を発表しましたが、さらに本年5月に文科省の教育再生実行会議は「これからの大学教育等の在り方について」第三次提言を発表しました。

何れも大学教育を従来の「知識伝達型」の授業から、学生が主体的に問題を発見し、解を見いだす「能動的学習」を中心とした授業への転換を要請しており、大学教育の質的転換を強く求めています。本学でも教育内容の質的充実を努め、教育力で選ばれる大学への転換を努力中です。

「教育環境の整備」
一方施設面では日進キャンパスの図書館情報センターの書庫の耐震工事の終了に次いで、一階入口にラウンジ・コモンズを新設しました。そのコンセプトは「学びの交流」で、学生どうしで、みんなで創る学びの交流の場です。個人の学習やグループでの自主学習も可能です。何れにしても能動的学習の一環としての学びの交流の場を最大限に利用して頂きたい。

また法人本部のある桶元校地では四号館の改築工事が終了し次いで現在三号館(短大棟)の改築工事中です。さらに末盛の歯学部附属病院では病院北館の立替え工事を準備中です。病院の改築は大工事です。が完成後は歯科医学・医療のセンターとして一層の

充実を計っていきます。

「名城公園キャンパス」
一方創立137周年に当たり大学の一層の飛躍を目指し、名城公園東に隣接する新キャンパスを開設します。勉学に最適な落ち着いた環境にあり、しかも大名古屋経済圏の中心に位置し交通の便は最高です。この地区で商・経営学部と今春新設の経済学部の、ビジネス系三学部の2年生以上の教育を、来年春より行う予定で、11階建の新学舎を建設中ですが、環境配慮型キャンパスを特長とします。躍動する社会と密接な連携のもと、教育の充実を図ると共に、大都市名古屋の知的拠点を構築、さらに官公庁をはじめ経済界及び各界との交流拠点を形成します。また市民の生涯学習のための市民講座や、近隣商店街との連携等、経済・文化発展の核、社会貢献センターとなることも目指します。大学ではこれを契機に教育・研究の発展と社会貢献のため邁進する覚悟です。

「学院大学の誇りを」
以上本学では時代の変化に対応し絶えず改革の努力を続け、教育研究の充実を努めています。一方私学として決して「変えてはならないもの」がある事を忘れてはなりません。それは創立以来堅持してきた建学の精神「行学一体・報恩感謝」です。この建学の精神を体した学生を、一人でも多く社会に送り出す事が、私学としての本学の特色であり使命です。本日創立137年の輝かしい歴史をふり振り返り、学院の今日ある姿を理解した時「学院大の教職員・学生であること」に大きな誇りを持つて頂きたい。そして本学が21世紀にさらに大きく飛躍するため、各人が夫々の立場で努力される事を望みます。

大学が大学であるための教育改革

学長 大野 榮人

愛知学院は、10月15日に創立137周年を迎えました。今日に至るまで、愛知学院大学を支えて下さりました教職員や11万余名の同窓生、学生、後援会の皆さまに對し、衷心より御礼を申し上げます。

伝統のある愛知学院大学が更なる発展を遂げていくためには、全教職員が改革意識をもって、教育と業務を真摯に遂行して頂かなければ、大学の未来はありません。

大学が大学であるためには、何よりも社会が求める「人材の育成」のための教育が実行されなくてはなりません。

その教育は、学生さんの一人一人が「自立・自律」してもらうものでなくてはなりません。そのために、本学の教育の目標を「自分の可能性に挑戦し、協働の場で主体的に活躍できる人」を育成することに設定いたしました。

(1)「大学での学びへの転換」
は、教養・専門課程の1年次の初年次教育において、受動的な学びから、学生さんが自ら問い、考え、行動できる主体的な学びへの転換を促します。そのためには、教育の授業法の抜本的な改革・改善が必要です。また、学生さんに4年間の明確な目標をもってもらうためには、「ポートフォリオ」を作成してもらい、全教員が全学生を支援していく体制が全学部で実施されなくてはなりません。図書館情報センター1階に「ラ

ーニング・コモンズ」(共有の場での学習)を新設しました。学生の共同研究や個人研究やゼミの授業などでフルに活用して下さい。

(2)「他者と協働できる学びの場の提供」をするためには、授業を活性化するための抜本的な改革が必要です。一つの方策として、学生さんの自立を促すため、従来のSA(スチューデントアシスタント)・TA(ティーチングアシスタント)に加えてLA(ラーニングアシスタント)を立ち上げました。教員と共同で、その授業の補助的指導をしてもらいます。将来的には千人くらいの学生さんにLAになって頂きたいと考えております。LAに活躍してもらうためには、全ての教室をラーニング・コモンズ形式に変えていかなくてはなりません。

(3)「学びからキャリアへの転換」は、社会で通用するコミュニケーション力・課題解決力・リーダーシップ力など様々な能力を身につけてもらうなくてはなりません。来年度より、全授業に「カリキュラムマトリックス」を作成してもらい、それぞれの授業において、如何なる能力を開発できるかを明記してもらいます。それに基づいた「授業アンケート」を予定しています。

大学設置基準が定めた1単位の取得の条件として、15時間の授業・15時間の予習・15時間の復習の合計45時間を確保しなければなりません。それが「教育の質の保証」です。残念ながら本学は、予習・復習の30時間を確保していません。30時間を確保するためには、授業外で常に学生さんに課題を与え、評価し、返却を繰り返してもらい、実行するためには、教員に週5日出勤してもらわなくてはなりません。

さて、来年4月の名城公園キャンパス開設に伴い、「地域連携センター」を開設します。いずれ日進・桶元キャンパスにも開設します。今日の大学の役割は、「教育・研究」の他に「社会貢献」が義務づけられております。そのためには、全学部学科のカリキュラムの中に地域・社会貢献の科目を新設し、具体的な取り組みを開始して頂かなければなりません。

全学生の支援をしていくため、各学部学科に「学習支援室」を設置して、教員とLAの学生さんによるサポート体制を導入していきたいと考えています。

「本学学生のための特別講演会」も継続していき、学生さんの自立・自律を促していきます。

無料で月・水・金曜日の全時間に開講している「SPI対策講座」は、一新されましたので、是非とも受講して下さい。

今年も東日本震災復興ボランティアに多くの学生さんや職員と共に、後援会の皆様もご参加下さり、衷心よりお礼を申し上げます。

137周年を機に、愛知学院大学が更なる発展を遂げていくためには、学生・教職員・後援会・同窓会の皆様のご支援とご協力をたまわりたくお願い申し上げます。

10月12日 創立 137周年 記念式典を 挙

愛知学院創立137周年記念式典が10月12日(土)午前11時から日進キャンパス百年記念講堂で挙行され、式典では小出学院長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。

また、平成25年度永年勤続表彰は次の皆さん。

40年勤続者
歯学部 教授 大野 紀和
教授 千田 彰
技工専門 講師 丹羽 治一
教授 主任 広国 里美
35年勤続者
教養部 教授 尾崎 孝之
歯学部 教授 後藤 滋巳
教養部 准教授 来住 準一
歯学部 講師 村上多恵子
教授 主任 西田 妙子
心身科学部事務室 実験助手 吉田真佐子
教養部事務室 事務職員 間宮美智代
歯学部事務室 事務職員 今村 昭子
図書館情報センター 事務職員 南谷 晴美
25年勤続者
文学部 教授 神山 重彦
教授 蛸島 直
教授 多門 靖容

短期大学部 教授 稲垣 幸司
教養部 准教授 小林 秀一
経理課 主任 加藤ひかり
教務課 主任 藤井まゆみ
学生課 主任 松原加寿美
事務職員 池田 紀子
就職課 主任 遠藤香寿美
国際交流センター 主任 磯部 智美
心身科学部事務室 事務職員 三吉 昌江
実験助手 重松みゆき
薬学部事務室 事務職員 藤井 繁子
事務職員 田中 典江
図書館情報センター 事務職員 大平 龍玄
事務職員 長 藤岡 聖子
附属病院 事務職員 高桑 真理
歯科技工士 杉浦 浩樹
衛生部主任 大河内ひろみ
歯科衛生士 小出 映子
歯科衛生士 林 由美子
歯科衛生士 稲垣美穂子
短大事務室 事務職員 佐々木佳子
15年勤続者
文学部 教授 伊藤 秀憲
教授 木村 文輝
経営学部 教授 武藤 明則
総合政策学部 教授 泉 寛幸
教授 清水 和美
教授 森 正
教授 山旗張星允
教養部 教授 清 忠師
商学部 教授 志野 澄人
総合政策学部 准教授 村田 尚生
歯学部 准教授 河合 泰弘
准教授 中村 好徳
准教授 名和 弘幸
講師 今泉 一郎
講師 高濱 豊
講師 有地 淑子
総務課 課長補佐 大城 剛
人事課 課長補佐 柴 裕樹
事務職員 岩丸 知美
事務職員 渡邊真知子
会計課 課長補佐 春日 聡
庶務課 課長補佐 山田 義丈
庶務職員 加藤 由佳
経理課 事務職員 柳川みゆき
名城公園キャンパス開設準備室 事務職員 川口さおり
教務課 課長補佐 安川 雅幸
学生課 課長補佐 栗木 良次
就職課 事務職員 初田 香
国際交流センター 事務職員 加納 勉
薬学部事務室 事務職員 加藤 雅人
主任 小川 貴弘
歯学部事務室 事務職員 川合 芳恵
事務職員 小出 享子
図書館情報センター 事務職員 榎原 飛鳥
歯学部・薬学部図書館情報センター 事務職員 大野 聡美
大学事務電算化企画室 事務職員 堀場 弘道
事務職員 加藤 恵美
附属病院 事務職員 加藤 善樹
事務職員 浅井 直代
歯科衛生士 青島 郁美
看護師 長谷川亜紀子

一層充実した学習環境 ラーニング・commons 完成

日進キャンパス 図書館情報センターの1階にこの秋新たにラーニング・commonsが完成し、10月12日(土)にオープンセレモニーが執り行われた。

セレモニーには中野重哉理事長、小出忠孝学院長、大野榮人学長、寶多國弘図書館情報センター館長らが出席し、小出学院長の挨拶の後、テープカットが行われた後、新たに完成した施設を見学した。

ラーニング・commonsとは自律的な学習を支援し、知識の創造を促す、図書館の新しい学習空間であり、①図書館の学術情報基盤をもとにして、協同学習、ITを活用した学習が行える総合的な学習環境、②情報リテラシー能力の育成及び学習を効果的に進めるサポートサービス、③学習及び学生生活に関する各種情報の提供といった学習環境を学生のみならず提供することを目指している。

授業のレポートやゼミの発表資料の作成、就職や資格の試験勉強など、学生たちの要望に応え、座席数を増加し、用途に合わせた様々な形態の学習施設を設置したことで、学習環境が一層充実した。

今回新たにオープンしたラーニング・commons(201席)では、自主学習・共同学習のスペースであるスタディーエリア115席、ゼミなどで活用できるプロジェクトルーム64席のほか、プレゼンの練習ができるプロジェクトスペース22席、外のテラスには学習の合間にリフレッシュできるオープン・テラスなど、東海地区の私立大学図書館にあるラーニング・commonsとしては最大級の施設設備を誇る。



授業のレポートやゼミの発表資料の作成、就職や資格の試験勉強など、学生たちの要望に応え、座席数を増加し、用途に合わせた様々な形態の学習施設を設置したことで、学習環境が一層充実した。

今回新たにオープンしたラーニング・commons(201席)では、自主学習・共同学習のスペースであるスタディーエリア115席、ゼミなどで活用できるプロジェクトルーム64席のほか、プレゼンの練習ができるプロジェクトスペース22席、外のテラスには学習の合間にリフレッシュできるオープン・テラスなど、東海地区の私立大学図書館にあるラーニング・commonsとしては最大級の施設設備を誇る。

第5回 大学生のための 特別講演会開催

10月9日(水)に鳥越俊太郎氏による大学生のための特別講演会が100周年記念講堂で開催された。

大学生のための特別講演会は、本学学生に「元気に本気でヤル気を持って学生生活を過ごす」ことを目的に開催され、今回で5回目。

講演会では、鳥越氏の父親の話、記者時代の話、鳥越氏自身が癌になった話など、これまで苦労した経験をお話いただき、ネガティブ思考からポジティブ思考に変換することの大切さについて語っていただいた。

◆お詫びと訂正◆
前号掲載の市民講座「歯をまもる、健康をまもる」について、開催日に誤りがありました。お詫びしますとともに、訂正させていただきます。
誤：平成25年11月19日(土)
正：平成25年11月9日(土)



AGU English Lounge オープン

10月7日(月)に日進キャンパスの新しい英語によるコミュニケーション専用スペース「AGU English Lounge」がオープンした。

オープンセレモニーでは、グレッグ・ロー(国際交流センター監事・文学部准教授)により「AGU English Lounge」の活動内容について説明がなされた。

「AGU English Lounge」とは、英語だけの交流空間のことで、昼食時間や講義の空き時間に学生、留学生、外国人教員が気軽に英語でのコミュニケーションを行えるスペースとして開設。

昨年度より開催されていた English Lunch Clubを更に発展



させ、学生の皆さんがより積極的に英語に触れ、国際感覚を身につけてもらうのがねらい。

開催時間は毎週月曜日のランチタイムと毎週月・木の3・4限。学生の皆さんの積極的な利用を期待する。

学生達に対しては「普段の生活で、嫌な事や大変なことがあるかもしれないが、少し立ち止まって考えてみてほしい。その嫌な事や大変なことは、自分自身を考えさせることで自分に何かを伝えていくのかもしれない。」と話し、ポジティブ思考をすること、新しい考え方が見つかり、マイナスをプラスに転換できることを伝えてくれた。講演は予定時間の1時間半が短く感じる程、中身の濃い講演会となった。



平成25年度 古川学術研究 振興基金 研究費 3名に交付

本年度の古川学術研究振興基金による学術研究費交付伝達式が7月18日(木)日進キャンパス学長室にて行われた。

古川学術研究振興基金は平成3年に古川善次郎氏(元大学後援会長)の寄付金を基に創設され、独創的で学術的に幅広く社会に貢献することが期待される研究に対し助成されるもので、今年度より学内の競争的資金として募集し、選考の末、次の3名に決定した。

交付者と研究課題は次のとおり。

平成25年度 古川学術研究振興基金研究費 採択者一覧			
学部	職名	名前	研究課題
心身科学部	講師	内藤 正和	インターンシップにおける教育効果とそのデザインについて
教養部	准教授	藤原 正道	サイエンスコミュニケーション技法による学生参加型多人数授業の提案-講義科目におけるクリッカーの導入-
法学部	准教授	鈴木 慎太郎	「法教育」を用いた新しい法学教育プログラムの開発と応用
			交付金額(円)
			800,000
			800,000
			800,000

協定調印

交換が行われた。協定書の交換の後、住田北区長の挨拶、大野学長の挨拶があり、来年春に開設される名城公園キャンパスを中心とした、官学連携について今後期待される社会連携についてそれぞれ抱負が語られた。

今後は、本学では大学の市民開放、各種市民講座など、この協定をもとに今後は大学全体と北区という大きな枠組みで連携を密にする予定をしている。



来年度より本学特任教授に就任

経済学部¹の学生を対象に、週に1コマ「経済学特講」を受け持つ予定。一般聴講者への公開も検討中。

今年、5月に学生のための特別講演会に池上氏を招聘し開催したのをきっかけに実現した。池上氏は、「日々のニュースの背後には歴史があります。その上に現在があり、経済活動が存在します。これを聞けば世界を深く見ることができます、そんな講義を目指します」とコメントしています」

来年春からの講義が楽しみです。



學術交流協定調印

平成25年9月4日、ベトナムダナン大学―師範大学(Center for Education)を持つ大学としても知られている。

iversity of Education — The University of Danang)と本学との学術交流協定調印式がダナン師範大学にて行われた。

本学からは大野榮人学長、
 引田弘道国際交流センター所
 長らが出向き、ダナン大学総
 長ならびにダナン師範大学学
 長と学術交流協定の調印を行
 った。

ダナン大学はベトナムの最大都市であるダナン市にダナン工科大学とダナン師範短期大学が統合して1994年に創立された国立大学で、師範大学、工科大学、経済大学、外国語大学（日本語学科）、師範短期大学を有している。充実した設備と豊かな自然に囲まれた環境を誇り、国際交流や国際協力も重視した国際貢献を行うグローバルな視点



秋季学位

平成25年度秋季学位記授与式が9月30日(月)日進キャンパス本部棟3階大会議室、楠元葉学部棟会議室にてそれぞれ行われた。

今回対象となったのは学部



田直樹法学部長の祝辞があり、
 本学を巣立つ学生らにエールを送った。

その後、各学部に分かれて
 各学部長よりそれぞれ学位記
 が手渡された。

また、楠元キャンパスにお
 いても、大野学長式辞の後、
 植薬学部長の祝辞の後、学位
 記が手渡された。

卒業、修了された方の今後
 の活躍を祈念したい。

ボランテ

一昨年の3月11日に東日本に多大な被害をもたらした東日本大震災の被災地の復興支援のため、夏休み期間に2班に分かれて、陸前高田市、大船渡市、大槌町にてボランティア活動を行った。

派遣の期間は、7月31日から8月5日、8月21日から26日までの期間で、2班をあわせて学生35名、引率職員6名が岩手県陸前高田市、大船渡市、大槌町で被災地復興支援のためのボランティア活動を行った。

今年は現地での活動期間を1日増やし4日間現地でボランティア活動を行った。また昨年度まで夜に出发していたが、今回は午前8時に大学出発とし、出発前には日進キャンパス本部棟3階第2会議室



にて出発式を行った。出発式では学生達を前に大野榮人学長、黒神聡学生部顧問らが参加学生らに「学べるものは多いはず。気をつけて行ってください」と激励の言葉を送った。

被災地では復興が進んでい



るとはいえ、まだまだ震災の爪跡もいたるところに残っており、陸前高田市仮設住宅のみなさんと、大槌町それぞれ語り部さんから震災当時の想像を絶する状況を直接聞き、学生達は目の前の惨状と共に被害の甚大さを痛感させられた様子であった。

現地では4日間それぞれが企画した出し物や、現地でのイベントに参加するなどのボランティア活動を行った。

本学への帰着は4日間の活動を終え、現地を午後8時頃に出発し、車中泊の後、翌朝9時に各班とも無事に全員が

日進キャンパスへと帰着した。参加した学生らは初めてのボランティア活動に当初は不安も感じられたが、昨年参加した学生同様、活動を通じて各々得るものが多く、大学に帰着した学生達の表情は出発の時とは大きく異なり、「参加してよかった」「人生観が変わった」など、充実感にあふれた感想ばかりだった。

今年も参加学生によるボランティア報告会が開催される予定。

第36回日税研究賞受賞(研究者の部)

本学大学院法学研究科の北村徳志氏が「第36回日税研究賞」に応募し、日税研究賞を受賞し、7月25日に東京・帝国ホテルにおいて表彰式が執り行われた。

この賞は、日本税理士会連
合会と日本税務研究センタ
ーが共催で、租税法、租税制
度、租税論、租税行政、税理
士制度及び税務会計に関する
未公表・既公表の論文を公募

し、そのうち秀逸と認められる論文等を表彰することにより租税等に関する研究の奨励及び研究水準の向上等を目的に実施しているもの。

応募論文の審査は、公募区分別（研究者の部、税理士の部、一般の部）に設けた選考委員会において、論理性、実証性、独創性その他の選考基準に基づき厳正かつ慎重な総

東海財務局長による講義開催

本学商学部の講義「商学特
 論Ⅴ（地域経済分析講座）」（経
 済学部・葛西・三好担当）に
 財務省東海財務局長の中山厚
 氏を招き講義が行われた。
 「日本経済の課題について」
 というテーマで、日本経済の

問題点、デフレ経済の原因、アベノミクスの概要や論点などについて、豊富な統計資料を用いて学生に分かりやすく説明していただいた。財政金融政策の最前線での経験にもとづいて、大学教員とは異なる視点で経済学について語っていたとき、学生たちは新鮮な刺激を受けることができた。平成26年度からは、経済学部の講義科目の中で東海財務局



による課税の規定と第3項の寄附金損金不算入規定との關係を論じたもの。

今回の受賞を契機として北村氏のさらなる研究の発展も大いに期待する。

日本税理士会連合会 第57回定期総会



と連携して「中部経済論」（春学期全15コマ）を名城公園キャンパスにおいて開講する予定。

今後、本学では官学連携議義を今後も充実させていく予定。

本学オリジナル

「ランチパック(山崎製パン)」

の販売決定

本学を含む中京地区5大学(愛知学院大学、愛知大学、中京大学、南山大学、名城大学)の学生によって開発された「キャンパスランチパック」が、10月1日(第1弾)と11月1日(第2弾)で販売されることになった。

この商品は、大学マスコット(フクロウ鳥)をモチーフに、大学カラー(エンジ色)にオリジナルティを出すために赤ワインを入れた高級感溢れる商品となっている。本学の商品は11月1日(第2弾)、中部地区の量販店、コンビニエンスストアなど約6000店舗で販売される。

「キャンパスランチパック」とは、学生達が立案(具材・パッケージ)したものを商品として販売するもので、山崎製パン株式会社が産学連携、キャリア教育の一環として行っている取組で、2013年1月〜2月には、早稲田大学、明治大学、法政大学、立教大学の4大学のキャンパスランチパックが関東・甲信越地区で販売された。

本学では、商学部の脇田ゼミ・尾崎ゼミの学生達が共同して商品開発に取り組み、約200案から選ばれた「チキンのトマトソース煮込み 赤



中京地区キャンパスランチパック
中京地区の5大学×山崎製パン 産学協同企画開発発表会

愛知学院大学 平成25年度文部科学大臣委嘱 図書館司書・司書補講習開催

本学での司書・司書補講習は、昭和27年に補元キャンパスにて開始してから、今年で60回目になります。これまでの本学講習で資格取得された修了者は、司書と司書補を合わせて、すでに100000人を超えており、図書館をはじめ、幅広い分野において活躍されています。

今年度は、7月15日(月)に日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて開講式が行われ、大野栄人学長、来賓の愛知県文化センター愛知県図書館・加古館長、講習講師代

就職活動について

4年生

現在の4年生は、十二月就活解禁の「二期生」です。一期生であり東日本大震災が起きた年と就活開始時期が重なった2013年卒の就活生と比べて、特に混乱もなく、アベノミクスの影響もあつてか、それなりに順調に推移しているものと感じます。本学への求人数は現在7500社近くで、昨年の求人数を大幅に超えています。また、内定率においても、昨年度と比較し数パーセント上昇しております。そして、内定を複数もらっている学生もおり、求

人を持っているケースが目立ちます。ただ、内定が取れない、これから就活を始めるという学生もいます。そうした中、未内定の学生を対象に10月17日には学内に秋季合同企業説明会を実施しております。また、秋学期授業開始日から学内にて、原則1日1社ずつ単独で企業説明会を開催しています。(単独説明会+一次面接)は空き日程が無いため連日の開催となっております。今後も卒業式間近まで開催していく予定です。学生たちからは、就活ラストスパートは内定へのプロセスが分かりやすく早期に採用が決定さ

れると好評を受けています。さらに、キャリアセンターからは就職活動についての連絡メールを受け取るように設定している学生たちには、毎日届く企業からの求人情報をその都度連絡メールを通して説明会等への参加を促しています。キャリアセンター内に設けてあるラストスパート参加申し込みボードには講義時間の合間に学生たちが申し込みに訪れています。

3年生
来る2015年卒の就活も本年12月に解禁します。2014年とはほぼ同傾向の流れで就活は推移すると思えます。12月解禁は3年目であり、経済もなんとなく回復基調であり、就活を妨げるような材料は今のところ見当たりません。さて、12月からは就職サイト(リクナビ、マイナビ、学情など)がオープンしネット上でのエントリーや実際に足を運ぶ説明会などが本格的にスタートしていきます。就職サイトのブランドオープンに合わせ、11月5日から8日には第4回就職ガイダンスを開催し、今後の就活で必須の職種・志望動機・考え方、就活マナーの基礎知識等々の説明を行います。また、ガイダンスとは別に、4年生による就職体験報告会、卒業生による業界説明会、メイクアップ講座、自己分析対策講座、履歴書の書き方講座なども用意しています。

1・2年生
就職活動、いわゆる「シーズン」は、1・2年生のうちから意識しておくことで、就活スタート時に差がつかます。差がつく3つのポイントを紹介いたします。まずは、OB・OG訪問をする。

と、やっておくべきことが分かっている人、ただ漫然と日々を過ごしている人では圧倒的な差がつかます。良い成績を取りましょう。意外と見落としがちなのは、成績です。あまりに成績が悪いと、それだけで評価が大きく下がってしまう、内定獲得が非常に難しくなります。一部の超優良企業では、ある程度の成績がないと、門前払いになることもあります。何かをやり遂げよう。これは充実した大学生活をするという意味でも重要なことです。何かをやりきった体験、成果を上げた経験は面接において最強の武器になります。そのため、今やっていることをやり通すことは、就職活動のスタートを更に有利なものに変えることができます。是非、こうしたポイントをお子様に伝えていただきたいと思います。

第11回 ボンド大学 交換留学生決まる

今年で11年目となるオーストラリア・ボンド大学への交換留学生に文学部グローバル英語学科3年小林鈴奈さんが決定した。

7月25日(木)日進キャンパス学長室にて奨学金伝達式が行われ、伝達式では、引田弘道国際交流センター所長、指導教官の先生らが見守る中、大野栄人学長より奨学金30万円がそれぞれ手渡された。

小林さんは9月初から12月末までの1セメスターを交換留学生としてボンド大学附属語学学校(BUELI)で語学を中心に学ぶ。

鈴木さんはグローバル英語学科のキャリアプログラムでのオーストラリアの研修の際、ホストファミリーと上手く交流で

きなかつた経験を経て、帰国後もっと積極的に交流できるような語学向上に励んだ。今回は前回の留学の苦い経験を糧に、充実した留学生活を送りたいと抱負を語っていた。

鈴木さんのオーストラリアでの学習が実り多きものとなることを祈念する。



表として経済学部・葛西准教授からご挨拶をいただきました。開講式終了後は、受講者を対象とした図書館情報センター見学も実施されました。司書講習は、昨年度より新カリキュラムでの開講となり、講習期間が約2ヶ月半に渡りました。昨年度と同様に、大学秋学期講義開始以降も講習が継続中のため、講習使用教室や学内設備利用では、受講生に不便な点もありましたが、本学キャンパスの活気ある雰囲気を感じていただけた講習となりました。勢力の強い台



今年度の司書・司書補講習は、昭和27年に補元キャンパスにて開始してから、今年で60回目になります。これまでの本学講習で資格取得された修了者は、司書と司書補を合わせて、すでに100000人を超えており、図書館をはじめ、幅広い分野において活躍されています。

今年度は、7月15日(月)に日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて開講式が行われ、大野栄人学長、来賓の愛知県文化センター愛知県図書館・加古館長、講習講師代

就職支援プログラム(11月、12月)
＜4年生向けプログラム＞
就職活動立て直し講座
学内単独企業説明会
履歴書・エントリーシート対策
面接対策
求人紹介
4年生専用キャリアカウンセラーを配置
＜3年生向けプログラム＞
第4回就職ガイダンス
第5回就職ガイダンス
業界・企業研究(学内企業展)
卒業生による業界紹介
就活のためのメイクアップ講座
求人票の見方講座

オープン キャンパスを開催

今年も夏のオープンキャンパスが8月2日(金)・3日(土)、秋のオープンキャンパスが10月19日(土)に開催された。夏は6718人、秋は2043人の高校生・保護者が訪れ賑わった。

オープンキャンパスは高校生や保護者にキャンパスを開放し、愛知学院大学をより知ってもらうためのイベントで、学部教員による個別相談会や模擬授業、予備校講師を招いての受験対策講座、担当職員による保護者対象説明会、入試・資格・就職等の相談コーナーや、在学生によるキャンパスツアー、サークル体験など、内容も充実している。



満員となった模擬授業の教室

高校生の関心が高かったのは、大学の講義を体験できる模擬授業や学科別説明会、入試説明会などで、多数の参加があった。

また、2014年4月に誕生する名城公園キャンパスに配置される商・経営・経済学部の相談コーナーでも自分に合う学びを見極めようとする真剣な高校生の姿が見られた。



薬学部の調剤実習体験

秋のオープンキャンパスでは、予備校講師の林修氏が「受験対策いつやるか? いままでしょ!」と題した講演を行い、保護者へのアドバイスも交えながら、受験生にエールを送った。



予備校講師の林修先生による講演

オープンキャンパスに参加した高校生からは「学部学科の学習内容の違いがわかり、進路選びの参考になった」、「在学が明るく、キャンパスに活気があって楽しそうだった」などの感想が寄せられた。また保護者からも「就職支援体制や学習環境がしっかりしている」などの声が聞かれた。

2013 海外語学研修に参加して

イギリス・カナダ オーストラリア

イギリスコース

文学部国際文化学科
3年 水野 翔太

「英語しか伝わらない」そんな環境におかれたら、自分の英語力はどのくらい通用するのか試したいという気持ちで今回の語学研修に参加した。エディンバラという町は、町全体がユネスコの世界遺産に登録されているため、古くからの建造物が建ち並び、まるで映画の中に入り込んだ気分だにさせてくれる。また、歩いているだけでも飽きないほどの魅力的な町で町並みが素晴らしい。



週末はバーベキューをしたり、テレビでサッカー観戦をしたりと楽しい思い出ばかりだ。特にホストファミリーは、積極的に話しかけてきてくれ、わかりやすい単語を使ってくれたり、発音のスピードを遅くしたりしてくれたりしたため、楽しく会話をすることができた。

エディンバラ大学での講義は、日本での英語の講義内容とは違い、主に日常会話で使える英語を習得するのがメインだった。また、講義の中でも音楽やスポーツ、生活などといったイギリスの文化を学ぶ機会があり、他にも、最後の週には、プロジェクトの発表があり、街にでて現地の人にアンケートをとった。英語しか使っていない大学での講義は、プレッシャーであり、刺激的であった。

平日の講義後は、仲間とピクニックに出かけたり、町を歩いて散策したりした。週末は、仲間と電車や高速バスを使い、違う都市に出かけるなど予定がぎっしりで、ゆっくり休む暇もなかったことを覚えている。そんなエディンバラでの生活は、日本で生活している時と違い、一日一日が素晴らしい充実していた。ホームステイ先の人は、僕を温かく迎え入れてくれた。

今回の語学研修で、「言葉」というものは素晴らしいものだと感じた。言葉一つで違う国の人に自分の意志を伝える、また相手の意志を聞くことができる。こんな素晴らしいことができる言葉はすごいと思う。国際文化学科に所属しているため、文化や国民性の違いは講義で学んでいたが、現地を訪れることによって、外国の立場から肌で感じることもできた。また、今回の語学研修で団長という特別な役割を担い、現地で企画を考えたり、大人数の前で話したり、語学研修本来の目的とは違ったことも学ぶことができた。この語学研修の仲間や現地で出会った人々と、いろいろな場所に出かけ、たくさん笑った時間や生活、経験は、一生忘れられない宝物だ。

カナダコース

経営学部経営学科
3年 川口 凌平

今回のカナダ語学研修は私にとってもとても良い経験となりました。私は英語がとても苦手で行く前は本当に不安でした。ビクトリアに着いた今でも海外の人と会話をすることができず、今でも忘れられない。会話の途中で「もっとうまく喋れるようにしたい!」と言ったら「今でも十分うまいよ!」と、会話になっていく感じが「やないか!」と言ってくれた時は、言葉にできないくらい嬉しかった。自分の中で納得いくことが伝えていることができなくて、もっとうまく喋れることを相手に伝えたいと会話の途中で思っていたため、今でも後悔はある。けれど、このことがきっかけで、自分の英語力に自信をもち、今以上に話す力を身につけたいという向上心が湧いてきた。



私はカナダで誕生日を迎えました。CAのみならず全員の寄せ書きのメッセージカードと手作りのチョコプレートなどを頂きました。ホストファミリーにもメッセージカードとメイプルシロップを頂きました。今まで21年間生きてきて、とても思い出深い誕生日となりました。カナダへ行って分かった事は恥ずかしがっていても何も始まらない、自分から動き出して何かをしなくては何かできないという事です。

普段は言葉の通じる国で生活していると思うと今までどれだけ小さく生きていたのだかと思えました。英語のできない私がこの27名の団長で大丈夫なのか? みんながバラバラになったりしないか? とても不安でした。でも、団長をやったよかったです。今は思えます。

素晴らしい先生と素晴らしい仲間と共にカナダへ行った事を嬉しく思います。伊藤先生、木林先生ありがとうございました。

今回こうしてカナダへ留学できたのも、愛知学院大学の

オーストラリアコース

商学部商学科
3年 本多 志帆

私たちが訪れたオーストラリアのゴールドコーストは、土地がとても広く美しいビーチや多くの自然に囲まれている。現地の方々もとても温かい人ばかりで、目が合うとこりこりほほ笑んでくれる人さえた。またお寿司の飲食店やTOYOTAなどの日本車が多々見受けられ、日本という国の文化が好まれているのだと思った。

語学研修先のボンド大学では、レベル別にクラスが分けられた。私のクラスはさまざまな国からの留学生がいた。毎日が英語漬けで、最初の1週間は聞くことに必死でクラスメイトにも、「Hi!」「Hello!」などの簡単なあいさつしかできなかった。私自身は積極的な性格で、人と話すことに自信があった。しかしいざ話そうとしても、日本語混じりの英語を話し伝わるか不安で、なかなか一歩の勇気が出せなかった。こんなにも初歩的なことができない自分の小ささに改めて気づくとともに、自分の語学力の乏しさをとても痛感した。そんな私に、先生やクラスメイト、ホストファミリーは笑顔で話しかけてくれたので、少しずつ自分に自信がもてるようになった。

放課後や週末は、校内でバスケットボールやビーチバレーなどのスポーツを楽しんだり、近くのショッピングモールや観光名所を訪れたりして



オーストラリアを満喫した。外に出ると大学とはまた違った発見ができ、毎日が新鮮だった。ほぼ携帯が使えないので、道に迷った時は英語で道を尋ねなければならず、伝えることに苦戦したが、現地の方々は親切に教えてくれた。この3週間は、私が生きてきた20年間のなかで一番価値ある時間であったと思う。「英語が伝わらなくても、気持ちは繋がっている」ということと「したがって、コミュニケーション能力は世界共通で重要である」ということが分かった。そのためにコミュニケーションツールとしての英語をもっと勉強したいと思えるきっかけになった。

また多くの文化の違いに触れることができ、それがとても刺激になった。日本人が模倣すべきことも多くあれば、反対に日本人の気遣いの心や礼儀正しさに気づくことができた。

そして、日本を離れて異国で生活するなかで、基本的なことができない自分に気づくことができ、自分自身を見直す良いきっかけとなった。この研修で出会えた仲間たちと、この機会を与えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、この経験を将来へ活かしていきたい。

平成25年創立記念日クラブ表彰一覧 (平成24年10月1日～平成25年9月30日)

▷一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
アイスホッケー部	愛知学生アイスホッケー競技会	優勝
ソフトテニス部	秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会	男子：優勝
硬式野球部	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦兼明治神宮野球大会連盟代表決定戦	準優勝
柔道部	愛知大学野球新人戦	優勝
バレーボール部(男子)	熱田神宮奉納柔道大会	優勝
競技ダンス部	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
ウエイトトレーニング部	中部日本学生競技ダンス選手権ラテン選手権	総合優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
洋弓部	東海学生アーチェリー新人選手権大会	優勝
ラグビー部	東海学生セブンスラグビー大会	優勝
剣道部	東海学生優勝大会	男子：優勝
射撃部	中部学生ライフル射撃伏射大会	男子組手：優勝
空手道部	東海地区学生空手道選手権大会	男子組手：優勝
	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	男子組手：優勝

▷一般表彰(個人の部)

学科	氏名	クラブ名	大会名	成績
国文	田中美沙	弓道部	愛知県下学生弓道選手権大会	優勝
総政	舟橋 主	硬式庭球部	東海学生春季テニス選手権大会	シングルス：優勝
経済	中西 一仁	テニス部	東海学生新進テニス選手権大会	シングルス：優勝
現企	青木 彰彦	ソフトテニス部	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
現企	青木 雅彦	テニス部	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
歴史	波多野利彦	硬式野球部	愛知大学野球連盟秋季リーグ戦	最優秀防御率選手賞
現企	萩原 大起	テニス部	愛知大学野球連盟秋季リーグ戦	ベストナイン
現企	古川 昌平	テニス部	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦兼明治神宮野球大会連盟代表決定戦	敢闘賞
経営	辻 直樹	テニス部	愛知大学野球連盟春季リーグ戦	新人賞
経営	石橋 拓朗	テニス部	愛知大学野球連盟春季リーグ戦	ベストナイン
健康	中村 俊真	ゴルフ部	全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技	準優勝
健康	田口 智敬	テニス部	中日杯争奪学生ゴルフ選手権競技	優勝
歴史	戌亥 政人	柔道部	東海学生柔道冬季優勝大会	優秀選手賞
歴史	〃	テニス部	愛知県別選選手権大会	二段：優勝
歴史	〃	テニス部	東海学生柔道体重別選手権大会	100kg級：優勝
歴史	山本 賢太	テニス部	愛知県学生柔道新人優勝大会	優秀選手賞
法律	鈴木 航	テニス部	愛知県別選選手権大会	参段：優勝
歴史	森 勇人	テニス部	愛知県別選選手権大会	初段：優勝
歴史	石浜 莉那	少林寺拳法部	愛知県少林寺拳法大会	男女級拳士：最優秀賞
歴史	神谷 拓輝	テニス部	少林寺拳法東海学生大会	男子単独演武：段外：優勝
歴史	〃	テニス部	愛知県少林寺拳法大会	男女級拳士：最優秀賞
現社	渡邊 康太	テニス部	愛知県少林寺拳法大会	男子二段：敢闘賞
法律	濱野 勇太	テニス部	東海学生新人大会	男子単独演武：段外：優勝
法律	〃	テニス部	愛知県少林寺拳法大会	男子二段：敢闘賞
経営	船木 優志	テニス部	愛知県少林寺拳法大会	男子三段：敢闘賞
ビジネス	平岩 空	テニス部	東海学生新人大会	自由組演武：優勝
経営	小林 大起	テニス部	東海学生新人大会	立合評価：優秀賞
経営	〃	テニス部	東海学生大会	運用法：最優秀賞
法律	立松 秀平	スキー部	よませ全国スキーチャンピオンシップ	スーパー総合：優勝
総政	丸山 隼士	テニス部	全国学生岩岳スキー大会	基礎スキー男子：3位
経営	時田 一希	相撲部	全国学生相撲個人体重別選手権大会	60kg未満級：優勝
商	深谷 峻平	馬術部	愛知学生競技会	M級D障害(H110cm)：優勝
商	〃	テニス部	愛知学生トライアル競技会	馬場馬術科目A：優勝
商	〃	テニス部	中部学生馬術選手権大会	優勝
宗教	正村 桜	テニス部	愛知学生トライアル競技会	M級D障害：優勝
総政	山内 晶大	バレーボール部(男子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	スパイク賞
日文	田川 貴一	競技ダンス部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	3年生：優勝
日文	〃	テニス部	西日本ラテン戦	総合優勝、ダブルス：優勝
総政	高谷 智史	テニス部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	フォックス・クイック：優勝
総政	〃	テニス部	中部日本学生競技ダンス選手権モダン戦	ダブルス：優勝
総政	伊藤 敬弘	テニス部	学生競技ダンス選手権大会学年別戦	ワルツ・チャチャ：優勝
総政	〃	テニス部	中部日本学生競技ダンス選手権ラテン選手権	新入：優勝、ダブルス：優勝
総政	〃	テニス部	中部日本学生競技ダンス選手権種目別戦	新入：優勝、ダブルス：優勝
現企	藤井 和真	ボウリング部	全日本大学選手権大会	ハイブリッド：優勝
法律	鈴木 慎二	ボクシング部	中部学生ボクシングトーナメント	バンタム級：優勝
健康	松脇 彰	テニス部	中部学生ボクシングトーナメント	ライト級：優勝
国文	村松 政実	テニス部	中部学生ボクシングトーナメント	フライ級：優勝
総政	岩田 侑磨	テニス部	中部学生ボクシングトーナメント	ウェルター級：優勝
総政	尾関 翔太	テニス部	中部学生ボクシングトーナメント	ミドル級：優勝
商	三浦 涼	ウエイトトレーニング部	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子53kg級：優勝
健康	飯田 貴洸	テニス部	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子74kg級：優勝
宗教	鈴木 博之	テニス部	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子93kg級：優勝
健康	山本 千夏	日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝
現社	山中 徹	テニス部	中部新人日本拳法個人戦優勝大会	初段・一級：優勝
法律	伊藤 大輝	テニス部	日本拳法愛知県民大会	一般男子有級：敢闘賞
経営	岡本 淳	ヨット部	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
法律	岡崎 翔平	テニス部	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
国文	大島 旭	テニス部	中部学生ヨット個人選手権	470階級：優勝
法律	角谷 瞬	洋弓部	スキーアーチェリー野沢カップ	準優勝
健康	宮本 和佳	陸上競技部	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
健康	〃	テニス部	東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
経営	三浦 央頌	テニス部	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
経営	〃	テニス部	東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
総政	安間 健登	テニス部	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
総政	〃	テニス部	東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
歯	伊東 雅哲	テニス部	愛知県陸上競技選手権リレー大会	男子4×400mR：優勝
歯	〃	テニス部	東海陸上競技選手権大会	男子4×400mR：優勝
健康	佐藤 貴幸	水泳部	長野県選手権水泳競技大会	100m平泳ぎ：優勝、200m平泳ぎ：優勝
経営	小島 雅登	剣道部	西日本学生剣道大会	優秀選手賞
ビジネス	山成 玄将	卓球部	東海学生卓球各別大会	ダブルス：優勝
健康	小島智咲子	テニス部	東海学生卓球各別大会	ダブルス：優勝
健康	谷川美沙紀	テニス部	東海学生卓球各別大会	ダブルス：優勝
法律	竹内 大祐	詩武道部	坪内杯全日本オープン空手道選手権大会	有級：優勝
心理	堀田 愛月	射撃部	中部学生ライフル射撃伏射大会	エアライフル伏射60発競技：優勝
日文	村瀬 幸那	テニス部	中部学生ライフル射撃新人戦・不朽戦	エアライフル立射60発競技：優勝
総政	星野 将宏	サイクリング部	スズカ8時間エンデューロ	4時間ロード：6位
総政	星野 貴大	テニス部	スズカ8時間エンデューロ	4時間ロード：6位
日文	藤原 由梨	空手道部	日本空手協会愛知県空手道選手権大会	一般女子形：優勝
健康	二村 智代	テニス部	日本空手協会愛知県空手道選手権大会	一般女子組手：優勝
日文	市川 美咲	テニス部	日本空手協会東海地区空手道選手権大会	個人組手：優勝
健康	青柳 京古	バレーボール部(女子)	5学連女子選抜対抗戦	ブロック賞
健康	〃	テニス部	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	ベストスコアラー賞
心理	高橋 秀徳	居合道部	愛知県居合道段別選手権大会	初段：優勝
心理	〃	テニス部	香川居合道大会	初段男子：優勝
心理	山口 舞子	書道部	中日書道展	特選

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名声を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成25年創立記念日クラブ表彰」が10月12日に行われた。

表彰の対象となる期間は平成24年10月1日から平成25年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を収めた者のほか、最優秀選手賞やベストナイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体29クラブ、(うち歯・薬学部15クラブ)と個人112人(うち歯・薬学部・短大部44人)が表彰を受けた。

▷特別表彰

クラブ名	業績
ラクロス部	ラクロス部学生の人命救助

▷歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
硬式庭球部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合第3位
ソフトテニス部	秋季東海歯薬ソフトテニス大会	男子団体戦：優勝
ボウリング部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	団体戦：優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合準優勝
卓球部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体戦：優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦：第3位
剣道部	関西歯学生連盟剣道大会	男子団体(Aチーム)優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体戦：第3位
空手道部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦：優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体戦：第3位
少林寺拳法部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	団体演武の部：優勝
日本拳法部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合第3位
陸上競技部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	トラックの部：第3位
フットサル部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
ゴルフ部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合第3位
〃	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦：第3位
ヨット部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
バインドボール部	イワタオープン	ビギナークラス：第3位

▷薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学部剣道部	第67回関西歯薬学生連盟剣道大会	男子団体優勝(歯学部合同)Aチーム
〃	第67回関西歯薬学生連盟剣道大会	女子団体優勝Aチーム
〃	第67回関西歯薬学生連盟剣道大会	女子団体準優勝Bチーム
薬学部ソフトテニス部	秋季東海歯薬ソフトテニス大会	男子団体優勝(歯学部合同)

▷特別表彰

氏名	所属	業績
吹越 真弓	尾三消防本部日進消防署勤務(健康科学科、平成22年度卒業)	ラクロス部学生の人命救助

▷歯学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
1	平手 純乃	バドミントン部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子シングルス：第3位
2	原 健祐	スキー部	第29回冬季歯科大学対抗戦	回転：準優勝
3	得能かほり	卓球部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子ダブルス：優勝
2	早川 亜希	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子ダブルス：優勝
2	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子シングルス：第3位
1	大野 言依	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子ダブルス：準優勝
1	早川 依里	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子ダブルス：準優勝
4	鈴木 大貴	ボウリング部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	ダブルス：準優勝
4	中野 峰文	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	ダブルス：準優勝
1	金成 宏樹	空手道部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	新人戦：第3位
2	吉弘ひかり	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	新人戦：第3位
4	近藤祐太郎	剣道部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦 初・無段の部：準優勝
5	川原 優	少林寺拳法部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 二段以上の部：優勝
5	宮園 将也	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 二段以上の部：優勝
4	杉 香奈子	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 二段以上の部：準優勝
4	吉岡 真悠	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 二段以上の部：準優勝
3	柏原 捷	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：優勝
3	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	単独演武 有段者の部：優勝
3	吉成 宏陽	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：優勝
3	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：第3位
3	岩田 侑真	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：準優勝
3	沼本真一郎	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：準優勝
3	前田 和樹	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 初段の部：第3位
2	今井 美希	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：優勝
2	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	単独演武 段外の部：準優勝
2	服部 尋香	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：優勝
2	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	単独演武 段外の部：優勝
2	北村 匠	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：準優勝
2	林 大貴	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：第3位
2	見田 幸大	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：第3位
1	岩本 侑	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 段外の部：準優勝
1	大森 千嘉	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 新人会の部：準優勝
1	尾崎 優衣	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	組演武 新人会の部：準優勝
6	内藤 裕剛	日本拳法部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦：第3位
1	加藤 美咲	アーチェリー部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子新人戦：優勝
1	恩田 真帆	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	女子新人戦：第3位
1	水野 翔太	水泳部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子50m 平泳ぎ：新人戦：優勝
1	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子200m 平泳ぎ：準優勝
1	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子50m バタフライ：新人戦：第3位
1	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子50m 背泳ぎ：新人戦：第3位
3	久保 孟士	陸上競技部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子200m：優勝
5	伊東 雅哲	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子400m：優勝
5	〃	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	男子110mハードル：第3位
4	橋本 佳樹	ヨット部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合：準優勝
4	伊藤 広貴	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合：準優勝
4	丸山 陽平	テニス部	第45回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合：準優勝

▷薬学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
5	阿知波侑子	薬学部剣道部	第43回中部歯薬剣道大会	女子個人：優勝
5	〃	テニス部	第67回関西歯薬学生連盟剣道大会	女子個人：準優勝
1	胡桃澤香蓮	テニス部	第67回関西歯薬学生連盟剣道大会	女子個人：優勝
2	加藤 勇紀	薬学部硬式庭球部	第67回関西歯薬学生硬式庭球大会	女子シングルス：優勝
3	梅村 佳樹	テニス部	第67回関西歯薬学生硬式庭球大会	男子シングルス：準優勝
4	森田 愛	薬学部陸上競技部	第13回全日本歯薬学生対抗陸上競技大会	女子100mハードル：3位
3	北村 有希	テニス部	第13回全日本歯薬学生対抗陸上競技大会	女子100mハードル：準優勝

▷短期大学部(個人の部)

学年	氏名	クラブ名	大会名	成績
2	廣瀬 葵	スポーツ愛好会	第45回全日本歯科学生総合体育大会	やり投げ：優勝